

Eiko Kano Violin Concert

Piano Karen Hakobyan



R Vintage

July.5.2018

Artist

加野景子(かのえいこ) ～Violin ～



日本学生音楽コンクール小学校の部西日本大会1位。翌年辻氏の半生を描いた連続テレビドラマ“弦鳴りやまず”(毎日放送、龍村仁氏演出)において久子の幼少時代を演奏と共に演じ、好評を博す。巨匠アイザック・スターン氏のマスタークラス(ソニー主催)において絶賛され、翌年も同マスタークラスに招待を受ける。第57回日本音楽コンクールにて第2位、併せて黒柳賞を受賞。第4回日本国際コンクールにて第3位受賞。大阪府高槻市より文化功労章、また無伴奏リサイタルが高く評価され、京都バロックザールより青山賞を授与される。東京芸術大学音楽学部入学後、アサヒビール、ロームミュージックファンデーションより奨学金を受け渡英、フォーバルスカラシップ選考会にて優勝、名器ストラディヴァリウス『レインヴィル』を貸与される。Manhattan School of Musicにて奨学金を受け修士課程を修了。2006年よりグラミー賞も受賞したアルバニー交響楽団のアシスタントコンサートマスターに就任。ニューヨークフィルでレギュラーサブプレイヤーとして活動する傍ら、ニューヨークの室内オーケストラ、ペガサスの首席奏者及び特別芸術顧問も務める。室内楽では鬼才ケネス・クーパー、エマーソンカルテットのユーージン・ドラッカーと共に演じたほか、指揮者なしの室内オーケストラにおけるリーダーとしての活動にも意欲的に取り組み、ニューヨーク州のコンサートレヴューにおいて絶賛された。2017年、自身のプロデュースによる創作ストーリーとヴァイオリン小品との融合を表現した企画、マンハッタンストーリーを立ち上げ、その公演はニューヨークで絶賛されCDリリースに至る。このCDは2018年11月と12月、JAL国際線のすべてのオーディオプログラムに搭載されることが決まっている。2018年からは“ソロヴァイオリンの極み”というシリーズを開催、ヴァイオリン独奏の独特な世界を追求、またアンサンブルThe New Yorkersを結成するなど、他分野のアーティストとのコラボレーションも積極的に行いながら、ニューヨークと日本においてユニークな活動を展開している。これまでに曽我部千恵子、澤和樹、建部洋子、ペラ・カトーナ、グレン・ディクテロウ、リサ・キム、ケネス・クーパー各氏に師事。

Karen Hakobyan(カレン・ハコビアン) ～Piano～



溢れる才能と無限の音楽的アイデアを持つ真の音楽家、とニューヨークコンサートレビュー紙に絶賛されて以来、アルメニア人ピアニスト、カレン・ハコビアンは国際舞台で活躍し続けている。17歳でカーネギーホールデビューを果たし、アメリカはもとよりアルメニア、メキシコ、ドイツ、フランス、イギリス、日本の名だたるホールで演奏し、その演奏がニューヨークの主なラジオ局などで放送されてきている。ユタ大学、マネス音楽院、マンハッタン音楽学校で学位を取得したのち、ソリストとしては勿論のこと、加野景子と2017年にマンハッタンストーリーのCDをリリース以降、The New Yorkersというアンサンブルを結成し、活動を拡げている。2017年には自らが指揮とピアノ、または作曲もてがける室内オーケストラ、ペガサスをニューヨークにて創設し、次々と従来のクラシック音楽界の形式にとらわれないプログラムや形式を発信し注目されている鬼才である。

Program

ポンセ : エストレリータ

ドビュッシー : ヴァイオリンソナタ

♪ドビュッシー : 喜びの島

ショパン : ノクターン

ガーシュイン : 3つのプレリュード

♪ガーシュイン : ワイルド2エチュード

ロンドンデリーエアー

バーンスタイン : ウェストサイドストーリー組曲より

アメリカ

♪ Piano Solo